

道の駅設置検討協議会 第2回会議要旨

日 時	平成27年11月16日（月）午後3時～4時40分
場 所	前橋市役所11階北会議室
出 席 者	<p>■協議会委員： 都丸会長、小暮副会長、植木委員、中村委員、関根委員、平形委員、狩野委員、高坂委員、藤野委員、相澤委員、浪川委員、小林委員、南委員、圓岡委員、湯川委員、飯塚委員、青木委員、伊能委員、長谷川委員、角田 勉委員、韓委員、兼本委員、角田 雄二委員 代理：中島委員（武藤氏） 欠席：萩原委員</p> <p>■オブザーバー： 国土交通省高崎河川国道事務所 伏見副所長 群馬県道路整備課道路企画室 林室長 前橋市 細野副市長、静文化スポーツ観光部長、岩佐産業経済部長、 金井農政部長、中西都市計画部長、稲垣建設部長</p> <p>■事務局： （政策部）藤井部長、（政策推進課）谷内田課長、下坪室長、川崎副主幹、 清水主任</p>
開催趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅導入機能・導入施設イメージ(案)について、各委員から意見を出してもらおう。 ・今後の導入機能等選定フロー（案）の確認
<p>藤井政策部長</p> <p>都丸会長</p> <p>植木委員</p>	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>＜進行：都丸会長＞</p> <p>3 議事（資料説明：政策推進課）</p> <p>（1）道の駅導入機能等に関する意見について</p> <p>（2）導入機能等選定フロー（案）について</p> <p>＜道の駅導入機能等に関する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな道の駅は日本一をアピールできるようなものがあると良い。 ・デパートなどを基準として、日本一機能的で快適なトイレ等を整備してはどうか。 ・食についてはピザ窯のメーカーがあり、温度帯を変えることにより、様々な料理を提供できるという話を聞いたので、日本一のピザ窯のある道の駅として

	<p>整備するのも面白いと思う。前橋は豚が有名なので是非熟成豚なども取り入れてほしい。</p>
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この道の駅の防災復旧拠点の考え方として、前橋とその周辺地域に対して果たす役割、県都前橋として県央地域に対して果たす役割、首都圏北部の玄関口として首都圏の防災復旧に対して果たす役割などの見地から、防災復旧機能を検討すべき。 ・この道の駅と2キロほどの位置にある駒寄スマートインターが、2017年に大型車対応化の予定となっており、前橋市の広報によれば、この地域を新産業地域化、物流拠点化を推進したいとのことであるので、その地域に防災上必要とされる機能を保持させて頂きたい。
関根委員	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩機能について観光バスに配慮したスペースを作って欲しい。特に観光バスでは女性の割合が多いので、トイレの数を多くして女性にやさしいものにして欲しい。 ・地域連携機能については、位置として赤城山を売りにするべき。 ・外から来るお客様に寄っていただくことを考えた場合、赤城の恵などの前橋の商品やとんとん広場の食事などをセッティングして旅行会社に販売できると良い。また、この道の駅自体に旅行業機能や斡旋業機能を持たせてもらいたい。
平形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の意見として子どもが遊べて、大人がくつろげるような道の駅にして欲しい。親水エリアや、るなばあくのような機能があれば、小さい子どものいる家族連れなどが何度も訪れるような道の駅になると思う。 ・基本機能を備えながら、あまり総花的にならないよう機能を絞り込んでいく必要があると思う。
狩野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・田口町には歴史的建造物である塩原蚕種がある。木造三階建で非常に大きくインパクトが強いので、是非有効に活用して頂きたい。 ・赤城山に対して総合PR的なものが見えてこないような気がする。道の駅の施設の中で、赤城山観光を中心としたPR拠点としての機能を導入して頂きたい。 ・当地区は、既存の農産物直売施設が多数ある。多くの人が集まることは良いことであるが、近隣の施設に影響が出てしまわないよう、既存施設とお互いにウィンウィンの関係になれる仕組みを検討しなければならない。 ・農産物直売所みたいなイメージよりは、ヨーロッパのマルシェや蚤の市のようなおしゃれな感覚の機能を持たせては如何か。 ・船津伝次平等の人的な観光資産も活用してほしい。
高坂委員	<ul style="list-style-type: none"> ・船橋市のアンデルセン公園のような子どもたちが遊べる大規模な公園を併設した道の駅を整備し、子育てするなら前橋という事をアピールできるようなものにしてほしい。

藤野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車両の休憩所、駐車場について、ドライバーの仮眠やシャワーが利用できる施設が必要だと思う。また給油施設、EV、水素ステーション等とともに、車両の修理点検整備ができる機能があるとよい。併せて、災害発生時の支援拠点として、前橋市の危機管理室を配置し、除雪等すぐに対応できるような体制ができると理想。 ・前橋というより赤城山の山麓周辺として農畜産物を広くとらえ、統一した地域ブランドを作る必要があると思う。食べ物についても統一した食材で「あかぎ野うまいもん街」や見せる市場のような「あかぎ野マルシェ」みたいなものができたらよいと思う。 ・名物を創るにあたって「マエバシシルク」を再発見、再発掘することも必要。 ・日本一の商品の開発として、前橋は「とんとんの町」として売っているので、豚をあらゆる角度からとらえたものを検討してほしい。 ・施設（建物）については、文化や歴史、地域ブランドをイメージできるようなものにしてほしい。
相澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな道の駅は、都会の道の駅として、全体的にハイセンスであり、一時的ではなく、若人に好かれ長続きをする施設にしてほしい。今までの道の駅は都会の人向けの田園風情の施設が多く、また、それが好評であったと思うが、都会の人は意外と飽きやすいので、また来たいと思われるような都会的なセンスを持った施設を目指して欲しい。 ・目立った道の駅ではなんでもあり賑やかであるが、価格構成が都会並以上である。設備投資に費用が掛かり無理もないが、オリンピック後の構造的な不況が予想されるなか、安かろう、不味かろう、悪かろうでは響きを買う結果になってしまう。 ・観光案内所的な施設を併設してほしい。
浪川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機能の考え方として、誰が道の駅を利用するかというところにスポットを当てる必要がある。道の駅は全国に1,000以上あるが、地元の方が利用してくれない道の駅は事業として成り立っていない。そういう意味で日常的に利用する人＝地元住民にリピートしてもらうということが必要。日常利用を促進する観点から日用品の販売や、行政施設などがあれば、リピートするきっかけになると思う。 ・観光については直売施設や飲食施設に加え、周辺情報の提供が肝になると思う。ただし、観光は利用者の季節変動や曜日変動が激しいので、そのバランスをどのようにとるかという事が非常に重要。また、近隣に道の駅が多いという事なので、それらとのバランスも考えなければならない。南房総市には8つ道の駅があるが、それぞれの特色を出し、機能分担により道の駅が運営されているので参考になると思う。
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅に必要な機能については、規定に従えばよいと思う。それ以外の機能

	<p>については、まず前橋ならではのコンセプトが必要であると思う。意見に書いた3つについては私の考えるものであるが、そういったものを協議会で合意し、それを基にして色々提案されているものを整理していくべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を行っていくには、人材が重要。今、政府が発表しているDMOを視野に入れ、これに対応可能な人材（マネージャー又はマネージャー候補）の発掘に最優先で着手しなければならない。本来はマネージャー、マネージャー候補となる人材が既にこの席にいるべきだと思う。
南委員	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩機能について、駐車場は「道の駅渋滞」を招かないアクセスの工夫と十分なスペース、バスやタクシーの乗降が一般車の出入りの妨げにならないことが必要。女性用のトイレについては小規模でも設置場所の分散が必要。EV充電施設については、高速充電器が必須。 ・地域連携機能については、来場者の人気から、地場産の野菜、畜産加工品の販売が想定されるが、前橋産に限らず群馬県内の物産も取り入れた方が、集客アップに繋がると思う。特に食については道の駅の目的化のために全国区のキーテナントの誘致が必要。 ・交流体験機能については、家族連れで滞在できる施設として十分な機能が盛り込まれている必要がある。また、路線バス、デマンドバスの乗入れは、高齢者等の買い物客の誘致に効果があると思う。飲食については、来場者にリーズナブルと感じさせる価格設定と品質を確保する必要があると思う。
圓岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・後発的な道の駅になるので、過去に例のない差別化をするべき。道の駅にステージを作り、若い人たちがクラシックや吹奏楽などを発表できる場ができるとよい。ひいては防災、復旧の場になると思うので、FMのサテライトスタジオを併設して、非常災害時にそこからラジオ放送をしたり、また常時においても、そこで何かをやっているということをリアルタイムで発信したりしていくことができたらと思う。地元の人に愛される施設でないと長続きしないので、市民参加ができるような道の駅になるとよい。
湯川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には前橋市周辺の方の利用がメインとなると思うが、今回は観光客をイメージして意見を出させて頂いた。事前提出の「サイクリストへの配慮」というものは完全に個人的な意見であるが、道の駅に車を停めてそこからサイクリングをすることをやっているの、そういったものを作っていただくとうれしい。 ・道の駅には、情報誌的な情報発信の場が必要ではないかと思う。道の駅の農産物直売所で、生産者の顔写真を表示して野菜などを販売していることがあるが、みんな同じように感じる。出来ればもっと掘り下げてその野菜がその土地で、どの様に作られているかという事を誌面で紹介できれば、ただ買っておいしかったということよりも印象に残る。また、周辺の観光地を紹介する雑誌や印刷物があると、その時に行くことができなくても、次回行ってみようという事になると思う。先ほど子育てするなら前橋市という意見があったが、例えば

<p>飯塚委員</p>	<p>前橋市への移住者を紹介するような冊子があると前橋市への移住促進に繋がると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本となる施設についてはどこもあまり変わらないような気がするのですが、如何に差別化するかが来場の動機付けになるのではないかと思います。外観として前橋市はレンガの建物や施設が多く富岡製糸もレンガ造りなので、群馬のイメージとして取り入れては如何か。 ・農産物直売所について、前橋は販売できる種類が多品目あるので、集客の武器になると思うが、どこの直売所に行ってもワンフロアでの販売で面白みが無い。そこで例えば小さなブースに分けたり、雑然とした市場のような空間にしたりしたら面白いと思う。 ・本日現地を視察した際に農業用水があったが、それを利用し敷地内を蛇行させて小川みたいなものを作るのも面白いと思う。 ・小林委員の意見にもあったが、マネージメントできる人がいることが肝心であり、最初から計画に携わり現場を掌握できる人がいるとよい。
<p>青木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地を視察した際に5ha位は必要ではないかと感じた。飯塚委員同様、水が豊富なところなので、それを何か利用したら良い場所になるのではないかと思います。 ・休憩機能は大型車が多いところという事なので、観光バスなどが入りやすい場所にしてもらいたい。トイレは清潔感があり数が多いと良い。 ・情報発信機能は、観光や利用者のニーズに対応する大事な場所であると思う。 ・地域連携機能は、道の駅で中心となる場所であるので、農業都市としての機能を満載し楽しめる場所であってはならないと思う。 ・交流体験機能では、子どもが屋外で遊べるスペースが充実できればよいと思う。また、学校単位等で農業体験ができて、そこで収穫したものがすぐ料理出来るような施設があると楽しい。 ・防災・復旧機能については、充実させなければならないものと思う。 ・その他の機能として、道の駅が農業経営者育成場所となり、ハウスなどの見学できるような施設が充実できれば理想。また、「TONTONのまち」なので、食肉のミート工房とそれを食べられる場が必要であると思う。道の駅全体がウェルカムの優しさや、おもてなしの溢れる場所であって欲しい。
<p>伊能委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前橋には地場産品や赤城の恵をはじめとする沢山の特産品があるが、それを如何に観光客など道の駅を訪れる方に知っていただくかという事が大切だと思う。しかしその特産品がいくら美味しいと説明しても、食してみないとなかなか伝わらない。そこでマルシェ形式のようなものを通じて、生産者や製造者が直接対面販売を行い試食や試飲をしながらその商品をPRできれば、リピーターに繋がるのではないかと思います。 ・観光客の呼び込みについて、群馬県に来る外国人観光客の方はまだ少ないと思う。赤城山を通じて外国人観光客を呼び込むような取り組みが必要。

<p>長谷川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機能・施設については、提案されているような基本的なものが盛り込めれば十分だと思う。その中で農産物直売所については、今は道の駅に必須なものになっており、地域の特徴をどれだけ出せるかという事で注目をされている。また、日常の農産物の購入の場として市内、県内の地域の方も利用する場でもあるので販売施設は充実させて頂きたい。また、他の委員も提案しているが、マルシェ形式のイベントも一つのやり方ではないかと思う。そういった意味でもイベントスペースについては地域連携機能の位置づけも欲しい。 ・前橋市の道の駅の特徴としてRVパーク（キャンピングカー向けの有料宿泊スペース）の設置を提案したい。キャンピングカーユーザーの中心層は60歳代で、40歳代から70歳代だけで全体の90%以上を占めており子育て世代からリタイア世代まで幅広い世代がRVパークを利用している。道の駅全体の利用者からすると割合は少ないと思うが、このような人たちはよくロコミを利用するので一般のPキャンパーや市民への興味深いPRができると思う。場所的にも上武国道の沿線であり色々なところに繋がる交通的な利点があるので、車旅のハブ的な拠点にすることにより、他の道の駅との差別化が期待できると思う。 ・立地的に風の強い場所なので、赤城おろしの体験や、風力発電施設の設置などにより前橋らしさを出せたらよい。
<p>角田勉委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民あるいは全国に対して前橋市を売り込み市民共通の旗印になるような馴染みやすい施設にしたい。併せて、フェアトレードができる売場ができれば良い。 ・道の駅の整備のテーマは「農」と「食」と「健康づくり」を提案したい。 ・本日、計画地の視察をしたが、建物、駐車場、公園、畑、水田これらの区分を明確にして再整理する必要があると思う。 ・近隣の道の駅との関係については、後発の道の駅であり、なんでもできる訳なので既存の施設が持っている分野は手を出さないことが必要。 ・店長の権限については、行政と切り離れた形で明確にしなければならないと思う。そうでないと特に商品開発という部分で問題が生ずる。 ・道の駅の特徴づけの要素として健康長寿命都市として1位を狙える位置にあるので、それを目指したらどうかと思う。 ・事前提出した意見書に市から出された整理表に対する私の思いと代案を書かせて頂いた。経費や面積を考えたら最初から整理されていないほうがよいものが沢山入っているので、これを整理して頂きたい。
<p>中島委員代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仮称「ぐんまの農業学校直売所」の提案 <p>この道の駅に中央農業グリーン専門学校が中心となり「ぐんまの農業学校直売所」を設置し、県内の農業学校で収穫された新鮮な農作物を、年間を通して販売することを提案。</p> <p>道の駅は農産物の直売所があるので、販売だけではなく、人材育成に繋がるよ</p>

<p>韓委員</p> <p>兼本委員</p> <p>角田雄二委員</p> <p>小暮委員</p>	<p>うにして頂きたい。</p> <p>・他の道の駅との差別化が最重要事項であり、市街地に近い都市型の施設であることを活かせるような、他でやっていないことをやる必要がある。そして、外からの観光客よりも前橋市内、近郊からの地元市民の利用を想定しなければならないと思う。お金を掛けて成功事例のような施設を幾つも作るより、赤城山と市内寄りの途中であるという立地を最大限活かして、赤城山など地域資源、観光のための交通のハブとして位置づけることを提案。（取りあえず疑似体験するのではなく、道の駅を起点に本物の自然景観を楽しめる赤城山周辺での各種ツーリズムに案内でき、季節毎のトピックスに応じた市内各所観光のハブ、情報発信のハブとして認知されるような役割）具体的には、ミニツアーエコバスの運用ができればと思う。大手観光会社の企画ツアーと一線を描き、利用客はバス代プラスアルファだけで気軽に利用でき、スポットを周遊するミニバスみたいなもので、内容も季節やイベントごとに更新し、市民が繰り返し利用できるツアー。また、観光コンシェルジュが季節毎の企画をしたり、市のイベントとの連動や広報も兼ねられたりすればよい。</p> <p>・今回、学生が県内道の駅15か所の現地調査及び一部はヒアリングを実施した結果をディスカッションした後、計画地に行ってこれができるかという事を検討し意見を提出。（資料1-1参照）</p> <p>・他の委員も指摘しているが、経営感覚のある人と早期から一緒に計画を進めたほうが良いと思う。必要なのはマーケティングとマーチャンダイジングの2点であると思う。</p> <p>・休憩機能の駐車場について、上武道路ができると、交通の流れが大きく変わり大型車利用の増加が見込まれるので是非広く整備して欲しい。また、ガソリンスタンド、EV、水素ステーションも整備してもらいたい。</p> <p>・交流、体験機能については、三層櫓等のシンボルになるタワーを整備しては如何かと思う。また子どもが遊べる遊園地みたいなものや、「道の駅しもつけ」のように大人数が収容できる会議施設なども必要と思う。</p> <p>・運営については第三セクターではなく、民間の株式会社により運営すべきものと思う。</p> <p>・家族連れで時間をかけて遊べる場所があると良いと思う。また栽培管理が大変であるが、時期の農産物の野菜等を収穫して食べられる農業体験できるところがあると良い。</p> <p>・メインとして、この地区は一年中色々な野菜が取れるので、地場産野菜を使ったおふくろ食堂みたいなものができればと思う。地元のお母さん方が地元の食材を使い地元の味を提供することにより、近場の人などのリピーターも期待できると思う。</p>
--	--

<p>都丸会長</p>	<p>＜その他自由討議＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料では、導入機能・施設イメージの整理をするためにマーケティング調査等を行うことになっていますが、これは外部に委託するものか。
<p>谷内田政策推進課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機能・施設イメージを整理するためには、道の駅に対するニーズや前橋市の強み、魅力に対する客観的なデータが必要であると考えており、現在委託業務の中で、そういった調査や分析を行う方針で調整を行っている。結果につきましては、出来次第示したい。
<p>小林委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整理にあたっては、協議会で基本になるコンセプトの合意形成があって、そのコンセプトに照らして整理していくことが必要であると思う。是非協議会でのコンセプトの合意をとって頂きたい。
<p>谷内田政策推進課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このフローでは、今年度本協議会は次回の3回までとなっているが、調査等の進捗に応じ、次回にコンセプトの合意を行い、更にその次に導入機能・施設イメージ案の検討を行うことも考えたい。
<p>植木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、現地視察をした際に上武道路と計画予定地との段差は致命的になりかねないと感じた。側道の高さは決まっていると思うが、計画地のかさ上げなどの対策はできるのか。
<p>下坪道の駅推進室長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上武道路と計画予定地の田んぼの面は3～3.5mの段差がある。かさ上げをする場合は、事業費や事業工程に大きな影響があるので、防災面等を考慮したうえで検討したい。
<p>都丸会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤城山の眺望も重要であると思うので、かさ上げについては景観面も考えて、検討していただきたい。
<p>中村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害と復旧の問題をどう取り上げるのかということを検討していただきたい。国を挙げての大問題で、前橋地域、県央地域、首都圏で具体的な問題を抱えている。国の施策にあるように、道の駅を防災と復旧の拠点として活用すべきだと思う。首都圏直下に地震が起きた場合、東京だけでなく群馬も協力して復旧の役割を担うべきだと思う。
<p>下坪道の駅推進室長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地については、市のハザードマップでは冠水する地域には該当していないが、道の駅は防災上重要な役割を担っているところも多くある。今後防災・復旧面での位置付けを市で検討し、県や国と協議したい。
<p>湯川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上武道路の通行量の予測のデータと、他のエリアでの道の駅への立ち寄り率はどの程度か。

<p>下坪道の駅推進室長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上武道路が4車線で完成した時には最大で約4万7千台/日を見込んでいます。ただし、28年度の開通は2車線での開通なので、それほど多くはない。立ち寄り率は次回までに調べて報告したい。
<p>中村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この場所は太平洋と日本海の間であり、群馬県は物流の要所となっているので、この道の駅は物流基地としての役割も果たすべきだと思う。
<p>下坪道の駅推進室長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、物流については他の委員からも意見を頂いており、今後検討を行います。
<p>角田勉委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国や県内の既存の道の駅の経営状態はどうなっているか。失敗しているところも多いと聞かすが、原因分析などの資料があると思うので、報告をお願いしたい。また、この道の駅に投入可能な予算の総額、また売上目標の設定はどのくらいか。
<p>谷内田政策推進課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算と売り上げの目標についてはまだ決まっていない。どのような施設にするかによって変わってくるので、今後マーケティング調査や整備運営手法を検討したうえで、いくつかの案を作成し、その案毎の事業費などを提示させてほしい。 ・既存の道の駅の経営状態、原因分析については改めて報告させてほしい。
	<p>4 その他（事務連絡：政策推進課）</p>
<p>藤井政策部長</p>	<p>5 閉会（藤井政策部長）</p>